

記者発表資料  
平成23年12月22日  
宮城県土木部港湾課  
担当：川越、三浦（内線3221）

## 東日本大震災後初 「仙台塩釜港 北米航路が再開されます」

東日本大震災後、仙台塩釜港（仙台港区）への寄港が休止されていた北米西岸／東南アジア航路（外貿定期コンテナ航路）が、来年1月22日（日）から再開されることとなりましたのでお知らせします。

これまでは、内航フィーダー航路（6月8日再開）での京浜港経由による輸出入や、中国／韓国航路（9月30日再開）での大連港、釜山港等への直接寄港による輸出入が可能となっております。

今回再開される航路は、東北各港の中で唯一となる北米西岸へのダイレクト航路ですので、東北地方に立地する北米向け輸出産業の多くが待ち望んでいたサービスと言えます。特に震災後、この航路が休止したことで他港まで陸送せざるを得なかった荷主企業にとっては、航路再開によって物流コストの削減、国際競争力の強化に資するものと期待されます。

今回の航路再開を契機に、東北唯一の国際拠点港湾として、企業の復旧・復興に貢献できるよう取り組んでまいります。

### 記

#### 1 寄港再開日時

平成24年1月22日（日）より毎週日曜日寄港（週1便）

※ 現在、船舶入港及び荷役開始時刻等は未定ですので、取材申込みのあった方に対し、集合場所等も含め前日までにお知らせします。

#### 2 寄港船社（下記3社による共同運航）

日本郵船（日本）、Hapag-Lloyd（ドイツ）、OOCL（香港）

#### 3 寄港第1船

（1）船名 NYK ARGUS（エヌワイケー アーガス）

（2）全長 約300メートル

（3）総トン数 約75,500トン

（4）コンテナ積載能力 6,200TEU※

※TEU (twenty-foot equivalent unit) : 20フィートコンテナ (5.9m×2.3m×2.3m) を1TEUとした単位。

#### 4 寄港地

仙台(日0)～ロサンゼルス(水10-日14)～オークランド(月15-火16)～東京(日28)～名古屋(月29)～  
神戸(火30)～高雄(金33-土34)～蛇口(日35-月36)～カイマツ(木39-金40)～レムチャバン(日42-月43)～  
シンガポール(水45-金47)～神戸(木53)～名古屋(金54)～東京(土55)～仙台(日56)

#### 5 現場取材の申込方法

高砂コンテナターミナルは保安対策上、立入制限区域となっております。現場での取材を希望される場合には、事前登録が必要となりますので、平成24年1月18日（水）までに裏面により当課あて御提出願います。

宛 先：宮城県土木部港湾課振興班

FAX番号：022-211-3296

## 取材申込書

案 件：「仙台塩釜港 北米航路が再開されます」

日 時：平成24年1月22日（日）午前中

※ 船舶の入港及び荷役開始時刻等については、取材の申し込みがあった方に対し、集合場所等も含め前日までにお知らせします。

場 所：仙台塩釜港(仙台港区)高砂コンテナターミナル内

会 社 名	氏 名	使用車両（ナンバー）

連絡先（TEL）：

（FAX）：

（e-mail）：